



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社

コード番号 9110 URL http://www.nsuship.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小畠 徹

問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 北里 真一 TEL 03-6895-6261

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	79,755	4.5	5,610	35.4	5,970	49.9	5,318	△6.6
26年3月期第2四半期	76,300	14.2	4,143	-	3,982	-	5,693	-

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 5,058百万円 (△41.0%) 26年3月期第2四半期 8,579百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	23.05	-
26年3月期第2四半期	24.68	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	223,091	67,699	29.2
26年3月期	224,507	64,943	27.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 65,202百万円 26年3月期 62,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	9.00	9.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は定款において第2四半期末日および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	6.7	11,600	31.2	10,400	16.6	8,800	△18.4	38.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	230,764,400株	26年3月期	230,764,400株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	90,873株	26年3月期	89,575株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	230,673,973株	26年3月期2Q	230,677,043株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、本日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から9月30日までの6ヶ月間）の外航海運事業は、ドライバルクにつきましては、全船型市況において当初の想定を下回る低水準な推移となりました。特にパナマックス型撒積船市況は近年の新造船供給過多に加え、中国の石炭輸入鈍化により当期の主要航路平均用船料は日額7千ドル程度と低迷しました。また、ケーブ型撒積船市況も、パナマックス型撒積船市況の下落や雨季に伴うブラジル積み鉄鉱石輸送の鈍化を受け、7月中旬は主要5航路平均用船料が日額9千ドル台まで下落しました。その後は、中国の鉄鉱石輸入やブラジル積み鉄鉱石輸送の回復に加え、新造船の供給圧力の低下等もあり、8月後半より日額1万5千ドル以上の水準に達し上昇をうかがう局面へと移行しました。原油タンカーにつきましては、冬場の需要期の終了や製油所の定期修理に伴う需要減等から、6月中旬まで低調に推移しました。その後は、中国の原油輸入量の増加や長距離輸送の増加等を背景に、6月下旬に反発し9月中旬積みまで堅調に推移しました。このような状況の下、為替相場が想定以上に円安で推移したことに加え、配船効率の向上や減速航海による燃料費節減の徹底等の営業努力により、外航海運事業の業績は前年同期比で増収増益となりました。

内航海運事業は、タンカーにつきましては、民生用・工業用ともに天然ガスへの転換等の影響を受けて輸送需要が縮小する中、船腹過剰となりLPG船市況が悪化しましたが、LNG船は順調に稼働しました。一方、ドライ貨物につきましては、鉄鋼関連貨物や一般貨物の荷動きは一部天候不順の影響を受けたものの、概ね堅調に推移し前年同期比で増加しました。このような状況の下、効率配船・効率運航、コスト削減に努めたものの、燃料油価格の高止まり等といった厳しい事業環境により、業績は前年同期比で増収減益となりました。

燃料油価格は、当社の第2四半期連結累計期間の平均購入価格は約627ドル（内外地平均C重油）となり、前年同期比では約3ドル上昇しました。また、対米ドル円相場は期中平均で102円と、期初の見込み100円に比較して2円の円安となり、前年同期比では3円33銭の円安となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は797億55百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は56億10百万円（前年同期は41億43百万円の営業利益）、経常利益は59億70百万円（前年同期は39億82百万円の経常利益）、四半期純利益は53億18百万円（前年同期は56億93百万円の四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっています。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,230億91百万円となり、前連結会計年度末比14億16百万円の減少となりました。このうち流動資産は主として現金及び預金や有価証券等の減少とその他流動資産に含まれるデリバティブ債権等の増加の差引により、5億29百万円減少しました。固定資産は主として船舶の増加と、建設仮勘定の減少の差引により8億88百万円減少しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、41億72百万円減少の1,553億92百万円となりました。このうち流動負債は主として支払手形及び営業未払金や短期借入金の増加により31億47百万円増加しました。固定負債は主として長期借入金の減少により73億19百万円減少しました。

純資産合計は、四半期純利益と配当金支払の差引による利益剰余金の増加と、その他の包括利益累計額の減少により、前連結会計年度末に比べ27億56百万円増加し676億99百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期			
	前回予想	今回予想	前回予想比	
			増減額	増減率
売上高	164,000	164,000	-	-
営業利益	9,500	11,600	2,100	22.1%
経常利益	7,300	10,400	3,100	42.5%
当期純利益	5,700	8,800	3,100	54.4%

※前回予想（平成26年4月30日）及び今回予想における第3・4四半期の対米ドル円換算率及び燃料油価格（内地C重油）の前提は以下の通りです。

第3・4四半期前提	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=100円	US\$=105円
燃料油価格（内地C重油）	US\$670/MT	US\$540/MT

第2四半期連結累計期間の業績、および第3四半期以降の当社を取り巻く事業環境を踏まえ、平成26年4月30日付けで公表した平成27年3月期通期の連結業績予想を上述の通り修正いたします。第3四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率を105円（前回比5円安）へと見直し、また燃料油価格は内地C重油価格トン当たり540ドル（前回比130ドル安）としています。

本日、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますので併せてご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が54百万円減少し、退職給付に係る負債が154百万円増加し、利益剰余金が144百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,407	21,687
受取手形及び営業未収金	14,947	15,995
有価証券	6,000	3,000
たな卸資産	7,802	8,084
前払費用	2,892	3,359
繰延税金資産	2,910	3,329
その他流動資産	3,654	4,630
貸倒引当金	△19	△21
流動資産合計	60,592	60,063
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	142,869	145,352
建物(純額)	565	558
土地	788	788
建設仮勘定	11,458	8,351
その他有形固定資産(純額)	176	198
有形固定資産合計	155,857	155,246
無形固定資産	253	215
投資その他の資産		
投資有価証券	5,221	5,267
長期貸付金	117	100
繰延税金資産	1,628	1,388
退職給付に係る資産	126	118
その他長期資産	713	694
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,804	7,566
固定資産合計	163,915	163,027
資産合計	224,507	223,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,860	9,010
短期借入金	17,709	18,664
未払金	280	44
未払費用	319	313
未払法人税等	594	948
繰延税金負債	913	1,089
前受金	1,728	1,667
賞与引当金	427	406
役員賞与引当金	62	12
デリバティブ債務	5,875	6,400
その他流動負債	1,718	2,078
流動負債合計	37,484	40,631
固定負債		
長期借入金	117,938	110,537
繰延税金負債	837	717
特別修繕引当金	1,943	2,042
退職給付に係る負債	798	934
その他固定負債	565	530
固定負債合計	122,080	114,761
負債合計	159,564	155,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	13,429	13,429
利益剰余金	39,721	42,818
自己株式	△27	△27
株主資本合計	63,423	66,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	667
繰延ヘッジ損益	△1,686	△1,288
為替換算調整勘定	109	△760
退職給付に係る調整累計額	59	62
その他の包括利益累計額合計	△931	△1,318
少数株主持分	2,451	2,497
純資産合計	64,943	67,699
負債純資産合計	224,507	223,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	76,300	79,755
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	69,101	71,129
売上総利益	7,198	8,626
一般管理費	3,055	3,016
営業利益	4,143	5,610
営業外収益		
受取利息	41	25
受取配当金	56	81
持分法による投資利益	11	22
為替差益	450	1,121
その他営業外収益	79	69
営業外収益合計	637	1,319
営業外費用		
支払利息	748	864
その他営業外費用	50	95
営業外費用合計	798	959
経常利益	3,982	5,970
特別利益		
固定資産売却益	1,717	232
特別利益合計	1,717	232
税金等調整前四半期純利益	5,699	6,202
法人税等	△238	766
少数株主損益調整前四半期純利益	5,937	5,437
少数株主利益	245	119
四半期純利益	5,693	5,318

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,937	5,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	740	90
繰延ヘッジ損益	1,044	396
為替換算調整勘定	760	△839
退職給付に係る調整額	—	4
持分法適用会社に対する持分相当額	98	△30
その他の包括利益合計	2,642	△378
四半期包括利益	8,579	5,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,309	4,930
少数株主に係る四半期包括利益	270	128

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,699	6,202
減価償却費	6,108	7,146
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11	△21
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24	△49
前払年金費用及び退職給付引当金の増減額	△47	—
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	△311	101
退職給付に係る資産及び退職給付に係る負債の増減額	—	△58
受取利息及び受取配当金	△97	△106
支払利息	748	864
為替差損益 (△は益)	△523	△776
持分法による投資損益 (△は益)	△11	△22
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△1,717	△232
営業債権の増減額 (△は増加)	△248	△1,053
たな卸資産の増減額 (△は増加)	433	△283
営業債務の増減額 (△は減少)	1,092	1,150
未払金の増減額 (△は減少)	△6,525	△58
その他	△652	743
小計	3,944	13,548
利息及び配当金の受取額	97	238
利息の支払額	△850	△1,065
法人税等の支払額	△372	△679
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,819	12,042
投資活動によるキャッシュ・フロー		
船舶の取得による支出	△36,403	△14,183
船舶の売却による収入	4,632	6,918
その他の固定資産取得による支出	△39	△110
その他の固定資産売却による収入	159	15
投資有価証券の取得による支出	△46	△68
その他	12	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,685	△7,378

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△775	—
長期借入れによる収入	41,742	7,020
長期借入金の返済による支出	△10,888	△13,466
配当金の支払額	△0	△2,071
少数株主への配当金の支払額	△50	△83
その他	△16	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,012	△8,614
現金及び現金同等物に係る換算差額	221	231
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,367	△3,720
現金及び現金同等物の期首残高	20,262	28,237
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,630	24,517

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	64,725	11,390	76,115	184	76,300	—	76,300
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	186	189	△189	—
計	64,725	11,393	76,118	370	76,488	△189	76,300
セグメント利益 又は損失(△)	3,261	887	4,148	△10	4,138	5	4,143

- (注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	67,280	12,299	79,579	175	79,755	—	79,755
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	4	4	148	152	△152	—
計	67,280	12,303	79,583	324	79,907	△152	79,755
セグメント利益	4,988	613	5,602	3	5,604	5	5,610

- (注) 1. 「その他」の区分には、陸運業及び情報サービス業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。